

(別表第4)

第三セクター情報公開資料

1 第三セクター名称等									
	名称	株式会社 岩城			電話番号	0184-74-2100			
	所在地	秋田県由利本荘市岩城下蛇田字高城2番地1			FAX番号	0184-74-2637			
	設立年月日	平成26年4月1日			HPアドレス	http://k-iwaki.co.jp/wine.html			
2	資本金	112,050千円	市出資金	85,300千円	市出資割合	76.1 %			
3	事業内容	1.道の駅「岩城」関連施設の管理運営(岩城総合交流ターミナル「ケベック」(売店、レストラン)、岩城温泉「港の湯」、岩城オートキャンプ場・コテージ等) 2.道の駅「岩城」に係る受託業務(駐車場、トイレ、休憩施設等の維持管理) 3.天鷲村、天鷲城等の観光施設及び遊園地の維持管理並びに同施設の運営業務 4.飲食店及び売店の経営 5.観光案内及び旅行斡旋 6.在宅配食サービス事業 7.各種イベントの企画立案及び運営管理業務 8.農産物の加工製造及び販売 9.地方公共団体の委託による日直業務及び諸届出書を受理する業務 10.労働者派遣事業 11.果実酒類の製造販売 12.農産物の缶詰加工及びジュースの製造販売 13.上記に関連する一切の事業							
4 財務状況(平成29年3月31日現在)									
貸借対照表から	項 目	金 額 (千円) 税抜き			損益計算書から	項 目	金 額 (千円) 税抜き		
		前々年度	前年度	本年度			前々年度	前年度	本年度
	総資産	70,508	75,048	77,682		総収入(売上高+営業外収益+特別利益)	340,153	337,131	338,146
	負債	41,352	41,870	48,183		(内市からの補助金・指定管理料)	39,928	39,128	39,128
	(有利子負債)	0	0	0		経常利益	△ 2,764	6,172	△ 1,989
	純資産	29,156	33,178	29,499		当期純利益	△ 3,488	4,022	△ 3,679
	利益剰余金	△ 82,894	△ 78,872	△ 82,551		減価償却前当期利益	525	6,391	△ 1,106
5 役職員の状況(平成29年3月31日現在)									
取締役数(うち市出向者・退職者)			5 (退 0)	正職員数(うち市出向者・退職者)			14 (退 0)		
6 第三セクターへの関与の状況(単位:千円 税込み)									
(1) 公的支援(平成29年3月31日現在)									
項 目		前々年度	前年度	本年度	備考(目的、内容、算出根拠等)				
①補助金(助成金)		800	0	0	備品購入費補助金(炭酸充填機)				
②利子補給		0	0	0					
③税の減免額		0	0	0					
④その他		0	0	0					
小 計		800	0	0					
⑤損失補償契約に伴う金利軽減額		0	0	0					
⑥出資金、低金利貸付等に伴う機会費用		0	0	0					
小 計		0	0	0					
合 計		800	0	0					
【参考】指定管理料(税込)		42,258	42,258	42,258	道の駅・天鷲村・天鷲城及び周辺施設・ワイン城				
(2) その他(平成29年3月31日現在)									
項 目		前々年度	前年度	本年度					
①損失保証契約に係る債務残高		0	0	0					
②貸付金残高		0	0	0					
③出資金(増資等)		0	0	0					
合 計		0	0	0					
7 添付資料 貸借対照表、損益計算書									

※本資料は、第31期決算報告書(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)に基づいて作成したものである。

決 算 報 告 書

(第 3 1 期)

自 平成 2 8 年 4 月 1 日
至 平成 2 9 年 3 月 3 1 日

株式会社 岩城

由利本荘市岩城下蛇田字高城 2 番地 1

電話 0 1 8 4 - 7 4 - 2 1 0 0

株式会社 岩 城

平成 28 年度（第 31 期）事業経過報告書

拝啓 平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、弊社は皆様の温かいご支援とご協力により、「株式会社岩城」としてスタートし、三度目の決算を向えることとなりました。

平成 28 年度の事業経過につきまして下記のとおりご報告申し上げます。

【全体の実績経過】

今年度の売上実績は 292,626 千円で昨年度比較（以降前年比と云う）+341 千円の増となりました。売上原価は 130,448 千円（前年比+7,776 千円）、により売上総利益は 162,178 千円（前年比△7,435 千円）となりました。販売費及び一般管理費は 209,269 千円（前年比+1,350 千円）となりました。

営業損失は 47,090 千円となり営業外収入 45,521 千円、営業外費用 418 千円等により経常収支は、残念ながら△1,989 千円（前年比△8,161 千円）の赤字となりました。法人税等 1,555 千円等により当期純損失は△3,679 千円となっております。

販売費及び一般管理費としては、広告宣伝費 6,607 千円（前年比+2,998 千円）が増加要因となっております。また、減価償却費 2,572 千円と 100%の計上をしております。

基本 5 ヶ年計画における平成 29 年度（岩城全体の計画は売上 295,000 千円、売上原価 130,000 千円、販売費及び一般管理費 205,500 千円、営業外収益 52,680 千円とし、当期純利益 11,396 千円となっております。

【天鷲ワイン事業課】

【実績経過】

今年度の売上実績は 31,189 千円で前年比△13,933 千円となっておりますが、特に受託業務収入 前年比△11,804 千円（前年は緊急雇用対策事業収入あり）となり、製品の売上だけを比較した場合前年比△2,129 千円となっております。売上原価 25,796 千円（前年比△4,025 千円）に抑えた結果、売上総利益は 5,393

報告事項

千円（前年比△9,907 千円）となりました。販売費及び一般管理費は 14,593 千円（前年比△7,083 千円）で推移し、営業損失△9,200 千円となり、営業外収益 4,999 千円を加え、経常損失△4,201 千円当期純損失は△4,372 千円（前年比△2,668 千円）となりました。

売上高の減少要因としては、秋田県酒類卸の人員削減、合理化策の実施等により全体的に推進力、カバー率等の低下。また、各メーカーへの依存度が高くなって来ていることが挙げられます。受託業務収入の減少は、「緊急雇用創出事業」の終了によるものです。

原材料の安定確保のために、自社農園の苗木剪定及び農園環境整備を徹底し、糖度のある良質の果実生産に努めております。

また、秋田県総合食品研究所との関係を密にして、品質の改良、プラムの品種の違いと最適な酵母の相性等の共同研究を行っております。

販路拡大のために、首都圏での展示会、試飲商談会へ積極的に参加。

また、ワインの環境の変化に伴い一般社団法人日本ワイン協会ほか各種団体を通じて、今後の国内のワイン情報の収集に努めております。

【今後の事業展開】

矢島地域でワイン専用品種のブドウの生産を始めた人がおり、今年度少量ではあるが収穫が望めることから、秋田県総合食品研究センターと共同で新しいワインの試験醸造を考えております。2～3年を目途に軌道に乗せる方向で進めております。

お客様の嗜好の変化に伴う対応策として、より糖度の高い甘味果実酒製造と免許取得についても検討してまいります。

基本5ヶ年計画における平成 29 年度天鷲ワイン事業課の計画は売上 35,000 千円、売上原価 26,000 千円、販売費及び一般管理費 16,500 千円、営業外収益 9,000 千円とし、当期純利益 1,316 千円となっております。

【天鷲村事業課】

【実績経過】

今年度の売上実績は 63,732 千円で前年比+6,907 千円となっております。売上原価は 24,158 千円（前年比+1,272 千円）、売上総利益は 39,574 千円（前年比+5,635 千円）となりました。販売費及び一般管理費は 53,412 千円（前年比+4,576 千円）で営業損失 13,838 千円となり、営業外収益 15,413 千円を加え、経常利益 1,274 千円（前年比 358 千円）、当期純利益は+916 千円の黒字となり

報告事項

ました。

【売上状況】

売店部門	19,805 千円	前年比	△ 275 千円の減少
食堂部門	20,060 千円	前年比	1,480 千円の増加
配食部門	2,219 千円	前年比	△ 495 千円の減少
入村料	5,143 千円	前年比	3,146 千円の増加

売店部門の売上は、前年並みで推移しました。昨年は、県内外のイベントに積極的に出店し、売上増加に努めましたが、今年度は、「真田丸」放映の影響もあり、県内外から多くのお客様がお越しになり「真田関連オリジナルグッズ」「天鷲プラムワイン」はじめ地元特産品の販売が好調で、売上は昨年並みの実績を上げることが出来ました。

食堂部門は、料理長の退職に伴う来店客の減少、と宴会利用者の減少を心配しましたが、創作メニュー「天鷲六文ランチ」の販売が好調で、前年を上回る実績で推移することが出来ました。また依然として、大型バス旅行の運行規則が大変厳しくなり、今まで開拓してきた商圈の団体客の獲得確保が非常に厳しい状況にあります。

配食部門は、メニューの見直し、配達員の声掛けや売店の商品宅配サービスによりクレームがなくなり利用者より評価を得ておりますが、利用者の介護施設への入居や他界なされ減少傾向にあります。

【販売費及び一般管理費状況】

増減幅の大きかった経費として

人件費	33,694 千円	前年比	936 千円の増加
水道光熱費	5,594 千円	前年比	△ 350 千円の減少
広告宣伝費	4,979 千円	前年比	4,317 千円の増加

特に水道料は、堀や池に水道水を補充しております。

広告宣伝費については、「真田企画展」装飾関連経費増によるもので、全額由利本荘市の補助金で対応しております。

【入場者数状況】

今年度の入場者数は 17,470 人です。前年比 10,739 人 前年増加率 159.5%のとなりました。

平成 28 年度は、亀田に縁のある NHK 大河ドラマ「真田丸」が放映されていることから、全国からたくさんのお客様が訪れ増加要因となりました。

報告事項

【今後の事業展開】

食堂部門の改善に努め、アイランドパーク事業課との連携を一層強化し、お客様の満足度向上に心掛けてまいります。

また、「真田企画展第2弾」を継続実施し旅行者への売込み強化と、アイランドパーク事業課と連携した、メニューの開発提供等を行ってまいります。

また、平成29年度は、ねんりんピック秋田2017、第140回種苗交換会の本市開催もあり、県内外からたくさんのお客様が、当地にも訪れることが予想されることから、市と連携した企画やイベントへの参加。また、お土産品の開発と商品化に積極的に取り組んでまいります。

基本5ヶ年計画における平成29年度天鷲村事業課の計画は売上63,000千円、売上原価21,000千円、販売費及び一般管理費53,000千円、営業外収益14,680千円とし、当期純利益3,380千円となっております。

【岩城アイランドパーク事業課】

【実績経過】

今年度の売上実績は197,705千円で前年比+732千円となっております。売上原価は80,495千円（前年比+3,894千円）、売上総利益は117,210千円（前年比△3,162千円）となりました。販売費及び一般管理費141,263千円（前年比+3,857千円）により営業損失は△24,053千円となりました。

営業外収益25,108千円及び営業外費用117千円により当期経常利益は938千円（前年比△5,805千円）、当期純損失は△223千円となりました。

【売上状況】

売店部門	51,246千円	前年比	2,020千円の増加
レストラン部門	91,353千円	前年比	△60千円の減少
温泉部門	40,240千円	前年比	343千円の増加
施設使用料	4,113千円	前年比	196千円の増加
オートキャンプ場	8,104千円	前年比	152千円の増加

昨年4月、象潟観光拠点施設「にかほっと」オープンに伴い、弊社、交流ターミナル等の来客にも大きな影響を与えております。売店部門売上については、真田丸オリジナルポロシャツ、手ぬぐい等の販売が好調で売上を伸ばすことができました。レストラン部門、オートキャンプ場については、ほぼ前年並みで推移しております。温泉部門は、大人1回当りの利用料金100円引き下げ効

報告事項

により、利用者数が前年比2千人増加したことが売上げ増加の要因となっております。

【販売費及び一般管理費状況】

増減幅の大きかった経費としては

人件費	72,846 千円	前年比	3,110 千円の増加
水道光熱費	42,988 千円	前年比	1,173 千円の増加
リース料	1,595 千円	前年比	△1,059 千円の減少
保守管理費	5,049 千円	前年比	△ 648 千円の減少

減価償却 2,399 千円については、合併に伴い償却資産の再評価を行い100%の償却を行っております。

【入場者数状況】

交流ターミナル	255 千人	前年比	△9 千人の減少
温泉館	153 千人	前年比	2 千人の増加
オートキャンプ場	4 千人	前年比	ほぼ横這い

【今後の事業展開】

一昨年度の温泉料金の改定、それに伴う利用者の増加という追い風が続き、また、地魚をメインにしたレストランメニューが好評で、総体の売上実績は197,705 千円（前年比+732 千円）となり、受託業務収入 2,649 千円除きの本業でも 2,651 千円の増加となっており、次年度に向け更なる増加を期待しております。

経費面では、特に、水道光熱費部門において、灯油価格の値上げ、好天による下水道使用量の増加等の要因により、前年比 1,173 千円の増加になっております。

収支面においては、当期経常利益 938 千円を計上することが出来ました。

財政面では、懸案であった未収金を前年比△1,449 千円圧縮することができ、財務の健全化に向け着実な成果を上げることができました。

今後も業容の拡大、収益確保、財務の改善に全力で取り組んでまいります。

基本5ヶ年計画における岩城アイランドパーク事業課の平成29年度計画は売上 197,000 千円、売上原価 83,000 千円、販売費及び一般管理費 136,000 千円、営業外収益 29,000 千円とし、当期純利益 6,700 千円となっております。

敬具

貸借対照表

株式会社岩城

平成29年 3月31日 現在

単位：円

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流 動 資 産】	【 63,045,801】	【流 動 負 債】	【 38,233,380】
現 金	2,372,151	買 掛 金	7,331,950
預 金	12,660,078	短 期 借 入 金	15,000,000
売 掛 金	1,840,084	未 払 金	10,963,132
商 品	3,897,794	未 払 費 用	1,174,051
製 品	6,011,842	未 払 法 人 税 等	854,100
原 材 料	5,800,074	未 払 消 費 税 等	1,644,000
仕 掛 品	25,463,673	前 受 金	202,719
貯 蔵 品	2,816,095	預 り 金	1,063,428
前 払 費 用	121,349	【固 定 負 債】	【 9,949,278】
未 収 入 金	1,754,661	預 り 敷 金	750,000
立 替 金	10,200	長 期 未 払 金	257,850
未 収 法 人 税 等	297,800	リ ー ス 債 務	8,941,428
【固 定 資 産】	【 14,636,238】	負 債 合 計	48,182,658
(有 形 固 定 資 産)	(13,900,773)		
建 物	1,213,534		
建 物 附 属 設 備	4,905,890		
機 械 装 置	31,537,823		
車 両 運 搬 具	262,500		
工 具 器 具 備 品	18,988,079		
リ ー ス 資 産	9,932,400		
減 価 償 却 累 計 額	▲52,939,453		
(無 形 固 定 資 産)	(443,280)		
電 話 加 入 権	443,280		
(投 資 そ の 他 の 資 産)	(292,185)		
出 資 金	36,600		
差 入 保 証 金	85,000		
長 期 前 払 費 用	170,440		
配 当 積 立 金	145		
資 産 合 計	77,682,039	純 資 産 合 計	29,499,381
		負 債 ・ 純 資 産 合 計	77,682,039

損益計算書

株式会社岩城

自 平成28年 4月 1日

至 平成29年 3月31日

単位：円

科 目	金 額	
【売 上 高】		
売 上 高		292,625,707
【売 上 原 価】		
期 首 棚 卸 高	12,583,183	
仕 入 高	108,007,385	
酒 税	1,043,800	
当期製品製造原価	20,711,625	
* * 合 計 * *	142,345,993	
期 末 棚 卸 高	▲11,897,961	130,448,032
売上総利益金額		162,177,675
【販売費及び一般管理費】		209,268,604
営業損失金額		▲47,090,929
【営 業 外 収 益】		
受 取 利 息	167	
受 取 配 当 金	300	
雑 収 入	45,520,221	45,520,688
【営 業 外 費 用】		
支 払 利 息	115,545	
雑 損 失	302,909	418,454
経常損失金額		▲1,988,695
【特 別 損 失】		
固定資産除却損		135,203
税引前当期純損失金額		▲2,123,898
法人税、住民税及び事業税		1,554,769
当期純損失金額		▲3,678,667

【 今 年 度 の 事 業 展 開 】	
○天鷲ワイン	
・ 少人数部で、各人の役割分担の見直しによる組織改革と強化を図る	
・ 欠精部部を構築する。	
・ 計画的な作業スケジュールにより作業効率の良化と時間的コストの解消。	
・ 不採算製品の製造を中止し、主力商品の製造、販売に特化する。	
・ 甘味果実酒等の不良在庫の処分を計画的に実施。	
・ 「高城」の原料が過剰在庫の状況にあることから、今後、ブラム生産農家からの仕入据置きに向け交渉して行く。	
・ 人材育成 技術向上に向けた派遣研修（広島県・酒類総合研究所 農産食品研究所・花巻市 備エードルワイン）	
・ プラム自社農園の維持管理。	
・ 甘味果実酒・リキキュール類製造販売免許取得を模索する。	
○天鷲村	
・ 料理人アイより派遣しているが、コミュニケーションに問題あり人員配置を含め改善良化に努める。	
・ 大河「真田丸」関係地として、地域文化を観光商品化を継続する。（第2期）	
・ 地域伝統食材の製作体験を含めた観光商品化。（例 つばき餅）	
・ イベントの主催及び各行事への積極参加。 将棋大会、天鷲冬まつり他	
・ アイと連携して顧客嗜好、ニーズに合ったメニュー開発と提供に努める。	
・ 人員が高年齢化しており、若手に随時移行して行く。	
○岩城アイランドパーク	
・ 収益基盤の確立と資金繰りの安定が急務。	
・ 経費削減による収益の確保。（水道光熱費、人件費ほか）	
・ 顧客嗜好、ニーズに合ったメニュー・商品の提供に心掛ける。	
・ 「鳥海選びどん」等地魚を利用したご当地メニューが好評。	
・ 各イベントの企画と積極開与と道の駅の日「イベントの充実。	
・ 「道の駅」及び「温泉施設」としての公的役割を担いながら利用客に施設の価値観を見出し、もたらえる運営に心掛ける。 国交省との連携。	

○平成29年度 事業計画（主要計数）

単位：千円		合 計	
	天鷲ワイン	天鷲村	アイランドパーク
総 売 上	35,000	63,000	197,000
売上原価	26,000	21,000	83,000
販 管 費	16,500	53,000	136,000
営業利益	△ 7,500	△ 11,000	△ 22,000
		△ 40,500	
営業外利益	9,000	14,680	29,000
経常利益	1,400	3,480	6,900
		11,780	

【 目 指 す べ き 合 併 効 果 】	
1.減資計画 資本金1億円に減資する。（節税対策）	
2.総務、経理部門の統合による一元管理の検討。	
①会計システムの統合 ※税理士との協議必要	
②レジシステムとの統合 経費負担増大今後の課題	
③その他総務・経理の一元管理とスリム化 人員の確保他	
3.企画・営業力の強化を図れる。	
独立した企画・営業部門を新設し、3社連携した新会社と	
しての企画・営業活動を目指して行く。	
4.売店部門	
①採算の取れるイベント出店。（人材の活用）	
②仕入と在庫の一元管理によるコスト削減とムダを省く。	
③レジシステムを統合し一括管理する。（日計数値他）	
（ポジレジには、予算的課題あり今後の検討事項）	
5.レストラン・食堂部門	
①仕入原価の改善。（仕入先の統一）	
②料理長を中心に顧客ニーズに合わせたメニューの企画・開発のため勉強会の開催。	
③外部講師による調理指導の実施。	
6.人事交流（H27年度より一部実施）	
①人員の適正配置。	
②補充及び補充等柔軟な配置。	
③組織の活性化。 嘱託社員の正社員化をH27年度実施。	
7.経費の削減	
①今計画は人件費を含め各社の過去実績を踏まえた削減	
数値を基に作成しており更なる圧縮は、十分可能と思	
える。	
②最大の経費である水道光熱費は、水道料金・灯油価格	
の動向より大きな変化が予想されるが、下水子メーター、	
節水システム導入等で削減に努めている。	
③修繕費及び保守管理費用は機種老朽化に伴い経費増	
が予想されるが計画的保守に努める。	
④その他共通の経費については、一部では合併の効果が	
出て来ているものの改善・交渉すべき項目もあることから	
鋭意削減・交渉に努めて行く。	
【課題と今後の方向性】	
・ワイン事業課 販売・製造品（ワイン）の品質低下による顧客確	
れは否めず、売上不足・仕掛在庫による恒常的な資金不足の傾	
向が続いている。 社員退職に伴う人件費の圧縮期待。	
不採算部門の見直しによる作業効率の良化と収益力の向上。	
・天鷲村事業課 食費の立て直しと、適正人員配置。	
食堂メニューの見直しと作業の効率化、食材原価率の改善を図る。	
・アイランドパーク事業課 債務超過に陥っているが、未払金の	
圧縮等財務内容は良化している。但し、3社共に施設及び各機	
器の老朽化による経費増が懸念される。	

計 画 の 骨 子	
業種の異なる会社の合併はいらる困難も想定されるが現状を鑑みて早期に統合することでのスケールメリットの有利性、人材交流による組織の活性化、共通経費の削減による収益の確保は十分期待できるものである。	
○本計画については、各社の向こう5ヶ年経営計画書を基に作成した。	
・計画損益計算書について	
売上計画	
状況下急激なV字好転は期待できず実勢を踏まえ緩やかな右肩上がり計画とした。	
収益面	
H27年度より黒字転換することを前提とした計画にしている。売上等収益確保と経費削減に努め	
単年度黒字化を目指す。	
経費面	
前項6に同じ。	
・計画貸借対照表について	
【計画の骨子】	
天鷲ワイン	
①仕掛製品（貯蔵品）の処分、新製品の販売	
②営業力の強化、不採算部門の見直しと作業効率	
③資金繰りの改善と経費圧縮（人件費等）	
天鷲村	
①食堂部門の改善	
②経費の削減（人件費等）	
③資金繰りの改善	
岩城アイランドパーク	
①未払金の正常化	
②決算黒字化と債務超過の解消	
③経費の削減による資金繰りの改善	
※1.本計画には消費税8%を想定している。	
（10%は想定外）	

【 計 画 】 損 益 計 算 書

(3社合算)

	H26.3		H27.3		H28.3		H29.3		H30.3		H31.3		明
	実 績	%	実 績	%	実 績	%	実 績	%	計 画	%	計 画	%	
総 売 上 高	293,997	100	293,999	100	292,285	100	292,626	100	295,000	100	295,000	100	
売 上 原 価	129,906	44.2	121,198	41.2	122,672	42.0	130,448	44.6	130,000	44.1	130,000	44.1	
(減価償却額)		-	762	-	973	-	873	-	942	-	942	-	
売 上 総 利 益	164,091	55.8	172,801	58.8	169,613	58.0	162,178	55.4	165,000	55.9	165,000	55.9	
販 管 費 計	209,190	71.2	220,089	74.9	207,919	71.1	209,269	71.5	205,500	69.7	205,500	69.7	
(減価償却額)		-	4,013	-	2,368	-	2,572	-	563	-	563	-	
営 業 利 益	-45,099	-15.3	-47,288	-16.1	-38,306	-13.1	-47,091	-16.1	-40,500	-13.7	-40,500	-13.7	
営 業 外 収 益	42,199	14.4	45,353	15.4	44,847	15.3	45,521	15.6	52,680	17.9	52,680	17.9	
受取利息・配当金	1	0.0	3	0.0	3	0.0							
その他	42,198	14.4	45,350	15.4	44,844	15.3	45,521	15.6	52,680	17.9	52,680	17.9	
営 業 外 費 用	180	0.1	829	0.3	369	0.1	418	0.1	400	0.1	400	0.1	
支払利息・割引料	106	0.0	24	0.0	67	0.0	115	0.0	200	0.1	200	0.1	
その他	74	0.0	805	0.3	302	0.1	303	0.1	200	0.1	200	0.1	
経 常 利 益	-3,080	-1.0	-2,764	-0.9	6,172	2.1	-1,988	-0.7	11,780	4.0	11,780	4.0	
特 別 利 益			800	0.3									
固定資産売却利益													
その他			800	0.3									
特 別 損 失			410	0.1			135	0.0					
固定資産売却・除却損							135	0.0					
その他			410	0.1									
税引前当期利益	-3,080	-1.0	-2,374	-0.8	6,172	2.1	-2,123	-0.7	11,780	4.0	11,780	4.0	
法 人 税 等	552	0.2	1,114	0.4	2,150	0.7	1,555	0.5	384	0.1	384	0.1	
当 期 利 益	-3,632	-1.2	-3,488	-1.2	4,022	1.4	-3,678	-1.3	11,396	3.9	11,396	3.9	
(減価償却額)		-	4,775	-	3,341	-	3,445	-	1,505	-	1,505	-	
税務上の欠損金													
前期繰越利益	▲ 79,337		▲ 82,828		▲ 86,896		▲ 82,874		▲ 86,552		▲ 75,156		
利益処分等	▲ 141		580										
次期繰越利益	▲ 82,828		▲ 86,896		▲ 82,874		▲ 86,552		▲ 75,156		▲ 63,760		
自己資本	34,644		29,155		33,177		29,499		40,895		52,291		
不良資産減価													
実質次期繰越利益	▲ 82,828		▲ 86,896		▲ 82,874		▲ 86,552		▲ 75,156		▲ 63,760		
実質自己資本	34,644		29,155		33,177		29,499		40,895		52,291		
長期借入金	1,469		0		0		0						
短期借入金	5,000		10,000		10,000		15,000						